

平成28年度 麻溝地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	麻溝公民館の花壇美化活動 [1]
申請団体	麻溝ガーデニングクラブ
事業目的等	<p>事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻溝公民館前にある花壇の花の植え付けと管理、土の手入れ ・年間の行事にあわせての花の補充 <p>事業の目的</p> <p>年間を通し、花壇に花が咲いているようにし、来館する方々の心を和ませる</p>
交付決定日	平成28年 5月25日
交付決定金額	30,000 円 (全体事業費 30,291 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>年間を通じて花の植え付けと手入れ及び管理</p> <p>自己評価</p> <p>交付金の利用により、補充花の購入ができ、工具使用で作業効率も上がり、年間通じ花が絶えることなく花壇作りができた。</p>
市評価	<p>公民館、まちづくりセンターに訪れる人にとって、美しい花が出迎えてくれることは、とてもうれしいものであり、そうした声をよく聴くことから、地域住民もこうした活動を期待している状況である。</p> <p>新施設への移転も計画されているが、引き続きの活動を期待したい。</p>
備考	

申請事業名	つなぐ事業	[2]
申請団体	TSUNAGARI UNITED	
事業目的等	<p>事業概要</p> <p>1 人をつなぐ事業 児童養護施設などの子どもたちが施設退所後に地域の中で頼ったり相談できる大人を増やすため、フットボールを通じた人と人とのつながり作り (月1回)</p> <p>2 知をつなぐ事業 子どもの人権や社会的養護、子育てをはじめとする子どもに関する知識を啓発するセミナー等の開催 (5月から3月まで全6回)</p> <p>事業の目的 子どもたちに真剣に向き合う大人を増やし地域の子どもたちを「見守り」「寄り添い」「支え合い」「受け止める」つながりを作ること</p>	
交付決定日	平成28年 5月25日	
交付決定金額	233,000 円	(全体事業費 246,100 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>・人をつなぐ事業 フットサルをはやぶさ学園にて実施 年12回実施 続けることで子どもたちとの関係性も深まり、また、退所していく子どもとの関係性も少しずつできてきた。</p> <p>・知をつなぐ事業 講演会を実施 年6回実施 リピーターもついてきて、地域に見守りのつながりが出来てきた。</p> <p>自己評価 より多くの大人に「子ども」について考える場を提供し続けることで少しずつ変化を起こしていきたい より確実に困っている子どもたちにリーチしていくことが今後の課題。</p>	
市評価	<p>継続して子どもについて考える場を提供することで、理解を示す大人が増加していくことを期待する。 これだけの講演会を実施していくことは大変な労力を必要とし、この事業を今後も子どものために継続してもらうことを期待する。</p>	
備考		

申請事業名	地域住民による公民館での事業・活動記録事業 [3]
申請団体	麻溝公民館を語ろう
事業目的等	<p>事業概要</p> <p>平成28年度から3年間を目途として、公民館での地域住民の活動記録を後世に引継ぐために保存し、新施設落成時の機会を捉えて公開する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 当該事業への各種団体及びその他組織、地域への事業趣旨説明と協力依頼 2 各種資料等の収集整理及び保存作業 3 月1回の編集会議の開催(臨時開催もあり) <p>事業の目的</p> <p>公民館での地域住民の活動記録を新施設落成時の機会を捉えて公開し、公民館の発展・活性化や地域住民に対する郷土愛の醸成に寄与すること</p>
交付決定日	平成28年 5月25日
交付決定金額	129,000 円 (全体事業費 129,201 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事業への取り組み方について前年度からの準備も含め今迄計28回の会議を行い、併せて麻溝公民館事務局に対し当事業への協力依頼協議も数回行った。 2. 公民館運営協議会、利用者懇談会等の場において、事業説明・協力依頼を行うと共に、地域に対しては公民館内でのポスター掲示、地域情報誌への掲載でのPR活動も行った。 3. 補助により、事業推進のための資料収集関係消耗品等の充実が図られた。 <p>自己評価</p> <p>事業に対する好評価はあるものの、資料提供の声がまだ少なくPR不足の感は否めないため、今後は構成員個人が色々な場面を捉えての事業PRを行う中で資料収集も行い、更にはあらゆる情報発信を行う中で成果の度合を高めてゆかねばと考えている。</p>
市評価	<p>新しい公民館の開館に向けた地域の取り組みとして、各種資料の収集、数多くの会議等を実施し、この熱意に対して敬意を表したい。</p> <p>地域住民の公民館への愛着を感じる事業である。</p>
備考	

申請事業名	第3回相模川鮎友釣り大会 [4]
申請団体	相模川鮎友釣り大会実行委員会
事業目的等	<p>事業概要 相模川の鮎の友釣りエリアが、平成26年度から昭和橋下まで広がったことにより昭和橋付近での鮎の友釣り大会を開催する</p> <p>事業の目的 ・母なる川・相模川での鮎釣りに親しむ ・相模川の雄大な自然環境に触れる ・参加者、近隣住民への憩いの場の提供</p>
交付決定日	平成28年 5月25日
交付決定金額	170,000 円 (全体事業費 448,400 円)
団体実績報告	<p>事業実績 3回目の相模川鮎友釣り大会を開催したが、第1回大会は、友釣り、つかみ取りが同じ午前中であったため、駐車場が足りなく大変な混乱となった。第2回は相模川の増水で日にちを分けて実施したが、人員確保や予算の問題があり、今回は、午前中に鮎友釣り大会、午後に魚のつかみ取り大会を実施した。それでも駐車場は、ソフトボールチームの利用もあり、大混雑の状況であった。運営側からは、時間は早朝から午後の長時間にわたるが、対応が分散されるため、1日で実施することは良かったとの意見であった。駐車場は他に場所を借りるなどの対応が必要である。</p> <p>鮎友釣り大会参加者55名 魚のつかみ取り参加100名 塩焼き体験103名</p> <p>自己評価 昨年に引き続き多くの参加者があったことは、この大会に期待する方が多いという証である。この度の大会の反省を生かし、来年度以降さらなる参加者が得られるよう実施内容等の充実を検討していきたい。</p>
市 評 価	<p>3回目となり、鮎友釣り大会は参加者も定着してきている感じがあり、麻溝地区を代表する行事となっている。</p> <p>魚のつかみ取り大会も回を重ねるごとに、多くの人たちが楽しみにしていただいているように思われる。</p> <p>駐車場の問題は大きな課題であるが、友釣り大会と魚のつかみ取り大会の時間を変えるなどの工夫により混乱は少なく開催できたと考える。今後も多くの方が訪れる行事となるよう期待する。</p>
備 考	

申請事業名	原当麻自治会 活動強化推進事業 [5]
申請団体	原当麻自治会
事業目的等	<p>事業概要</p> <p>自治会活動の見える化により、自治会の加入促進を図る</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自治会のスタッフベスト等を自治会の事業・行事で着用し、自治会の「見える化」を図る。 2 未加入世帯の多い地区などを中心に、地域に応じた効果的な加入促進策を計画的に実施する 3 賃貸住宅入居者の加入促進を図るため、オーナーや管理会社の協力を求めている。 4 自治会活動の活性化に向けて課題を抽出し、その解決策について 検討する。 <p>事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の問題を着実に推進し、自治会活動が安心・安全な生活を送る上で大きな役割を果たしていることを見える形にする ・自治会未加入世帯の多い地区などを中心に、積極的な加入促進を図る
交付決定日	平成28年 7月25日
交付決定金額	396,000 円 (全体事業費 486,504 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>今年度は、自治会加入率が特に低い九坊院地区を重点地区に指定し、役員等が一丸となって加入促進を図った。また、専用のごみ置き場を持たないアパートの管理会社への加入依頼も実施した。</p> <p>さらに、一般ごみの週2日収集に伴うごみ置き場の新設と改修、ごみ置き場への自治会加入促進の表示板の設置、掲示板の適正配置に向けた移設等のほか、閉じこもりがちな高齢者を対象にした茶話会も開催した。</p> <p>自己評価</p> <p>今年度は、自治会の活性化に向けて様々な取り組みを行った。新規加入は40世帯で、昨年の31世帯と併せて71世帯となり、3年間の目標である100世帯にまた一步近づくことができた。</p> <p>また、ごみ置き場の改修などを通じ、自治会の活動を見てもらう機会も増え、自治会への理解も徐々に深まっていると感じている。</p>
市 評 価	3年間の計画期間の2年目であるが、自治会内の課題について積極的に改善する取り組みを実施している状況は大いに評価すべきと考える。3年目も成果を期待する。
備 考	

申請事業名	麻溝地区防災マップ改訂事業	[6]
申請団体	麻溝地区自治会連合会	
事業目的等	<p>事業概要 麻溝地区防災計画が昨年度策定されたことから、既存の防災マップに掲載されている防災に関わる情報等の修正を行う</p> <p>事業の目的 麻溝地区の地域防災力向上のために、防災情報等が見やすく掲載されているマップを作成し、地区内全世帯に配布する。</p>	
交付決定日	平成28年 7月25日	
交付決定金額	600,000 円	(全体事業費 609,432 円)
団体実績報告	<p>事業実績 麻溝地区防災マップ 10,000 部作成 配布案内チラシ 7,000 部作成 自治会加入促進チラシ 7,000 部作成 ～ を歩スティング業者により、麻溝地区内全戸(6,700 世帯)に配布</p> <p>(改訂内容) ・防災マップのベースとなる地図を自治会区域図として活用できるよう、自治会ごとに色分け、建物の形状を反映した。 ・防災ガイド面の避難情報、気象警報等を最新の情報に更新し、近年多発する自然災害に迅速に対応した</p> <p>自己評価 この度の麻溝地区防災マップの改訂は、平成 27 年度に策定された麻溝地区防災計画のより詳細な行動マニュアルとしての役割を担うとともに、近年多発する自然災害により改訂された災害、気象、避難にかかる最新の情報を迅速にかつタイムリーに反映し、地区内全世帯へ周知できたこと大きいと考えている。</p>	
市 評 価	<p>地域住民に対して防災情報を掲載した防災マップを全戸配布したことは、安全安心なまちづくりに寄与するものである。 地域住民は日ごろからこのマップを活用して、防災に対する備えを心掛けてもらえることを期待する。</p>	
備 考		

申請事業名	"いいまち あさみぞ"安心見守りプロジェクト推進事業	[7]
申請団体	いいまち あさみぞ安心見守りプロジェクト実行委員会	
事業目的等	<p>事業概要</p> <p>地域から孤立する人、見守りを必要とする人などに対して、地域住民全体でゆるやかな見守りと(救急、災害など)緊急時の対応や継続的・個別的な見守りなどの必要性を共有するとともに、地域福祉にかかる様々な団体・活動などを連携させて、具体的な事業を展開するもの。</p> <p>事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域から孤立する人を見逃さない ・継続的・日常的な見守りが必要な方を確実に見守る ・緊急対応や専門的な支援が必要な方に対して適切な対応を行う 	
交付決定日	平成28年 7月25日	
交付決定金額	180,000 円	(全体事業費 326,323 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 プロジェクト周知、気付き啓発事業 地域住民全体に見守りプロジェクトに取り組む必要性や、隣近所の気付きの重要性を啓発するチラシを全戸配布。(7,000 枚) ポスティング業者により全戸配布を実施。(3月) 2 安心グッズ作成・配布事業 緊急連絡先、かかりつけ医などを記入できるカードや災害時に利用できるグッズ(ブザー、シートなど)を安心グッズとして作成し、希望者に配布。 ・安心グッズ希望者募集チラシを全戸配布。(7,000 枚、3月) ・ポスティング業者により全戸配布を実施(3月) ・利用者の安心グッズメンテナンスを実施(7月・1月) ・安心グッズを随時配布(新規9個) 3 外出時緊急対応グッズ作成事業 外出時のもしもの時のために、誰もが容易に携帯できる緊急連絡先カードを気付き啓発チラシに添付し(切り取り式)、全戸配布した。(7,000 枚) ・ポスティング業者により全戸配布を実施した。(3月) 4 講演会の開催 地域での見守りや支援の必要性などについての講演会を実施。 講師:鈴木敏彦氏(和泉短期大学教授) 3月21日実施、参加者23名、チラシ(600枚)を自治会回覧等で周知 <p>自己評価</p> <p>平成23年度から地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、自治会、老人クラブ等が継続して行うことで「地域で孤立しがちな高齢者等をゆるやかに見守る体制」が広まっているものと感じる。また、今年度は外出時に携帯できる緊急連絡先カードを取り組み・啓発チラシに組み合わせて作成、全戸配布することにより、多くの人の目に触れ、利用してもらえるなど効果は高いものと考えている。</p>	
市評価	平成23年度からの継続事業で継続してきたからこそ、定着してきた感がある。今回は緊急カードを取り入れたチラシを作成するなど、新たな展開も見られた。引き続き、高齢者のゆるやかな見守りが広がるよう事業の展開を期待する。	
備考		

申請事業名	麻溝地区自転車盗難撲滅キャンペーン	[8]
申請団体	相模原市安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	
事業目的等	<p>事業概要</p> <p>相模原南警察署管内では、平成 28 年度に入り自転車盗難が多発している。麻溝地区内でも自転車盗難の被害があり、駐輪場だけではなく自宅敷地内からも盗まれるケースが増えている。自転車をとめる際には必ず鍵をかけ、愛車を盗難から守るため、ツーロックを心がけるよう、地域住民に広く呼びかけを行い、犯罪のないまちづくりを進めるもの。</p> <p>事業の目的</p> <p>自転車盗難防止および防犯意識の向上</p>	
交付決定日	平成 28 年 9 月 9 日	
交付決定金額	124,000 円	(全体事業費 133,918 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>地域住民への自転車盗難防止対策、防犯意識の向上につながる事業を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 交通・防犯啓発日、公民館で行っている高齢者学級の「交通・防犯講習会」および地域ふるさとまつり会場にて、自転車盗難防止の呼びかけ、チラシ・ワイヤーロックの配布。 2 地区内にある駐輪場4ヶ所に、自転車盗難防止幕・看板の設置。 <p>自己評価</p> <p>自転車盗難が多発している現状やその対策として、看板の設置や盗難防止対策の呼びかけおよびワイヤーロックの配布を行うことにより、地域住民へ広く啓発することができた。今後も、防犯意識の高揚につながる活動を行うことで、安全で安心できる住みよいまちづくりを目指していきたい。</p>	
市評価	<p>南警察署管内で多発する自転車盗難に対するキャンペーンは、課題への迅速な対応として大いに評価するものである。また様々な機会を捉えて啓発を行なったことにより、地域住民の意識向上につながったものと感じる。</p> <p>継続的な活動により、一台でも多く自転車が盗難にあわないようになることを期待する。</p>	
備考		

申請事業名	麻溝地区自治会連合会加入促進事業 [9]
申請団体	麻溝地区自治会連合会
事業目的等	<p>事業概要 地域住民に自治会の重要性を理解してもらえよう自治会活動を広く周知するなど、自治会の加入促進につながる事業を実施するもの</p> <p>事業の目的 ・自治会活動の周知 ・自治会未加入者の加入促進</p>
交付決定日	平成28年11月28日
交付決定金額	429,000 円 (全体事業費 644,272 円)
団体実績報告	<p>事業実績 地域住民に自治会の重要性を理解してもらえよう自治会活動を広く周知するなど、自治会の加入促進につながる事業を実施した。</p> <p>1 折りたたみごみ収集カゴの設置 ごみ集積所の美観を保つための折りたたみごみ収集カゴを設置した。 (大サイズ7台、マンションサイズ1台、中サイズ9台、小サイズ4台)</p> <p>2 ごみ集積所自治会設置看板の設置 自治会が管理している周知を図るための看板を設置した。</p> <p>自己評価 自治会活動は、地域住民の相互理解の下、活動が円滑に行われるものである。自治会活動として何が行われ、どのような効果があるのか、こうした活動を広く周知することはそうした相互理解への第一歩と考えている。こうした地道な活動を展開し、多くの住民が参加する自治会となるよう引き続き努めていきたい。</p>
市評価	当該事業については、継続的な実施により地区内に多くの折りたたみごみ収集カゴが設置され、自治会の美化活動を目にする機会が増加している。一般ごみの週2回の収集も始まり美化活動の重要性が更に高まっており、自治会加入促進につながることを大いに期待する。
備考	

申請事業名	あさみぞさくら植樹プロジェクト	[10]
申請団体	麻溝観光協会	
事業目的等	<p>事業概要 麻溝地区内各所への桜の木の植樹</p> <p>事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動団体や地域住民の交流促進及び地区内各所への桜の木の植樹による観光振興 ・子どもたちへの郷土愛の醸成 	
交付決定日	平成28年11月25日	
交付決定金額	79,000 円	(全体事業費 79,288 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>さくら植樹プロジェクト3年目の今年度は、地区内の植樹を希望する当麻山無量光寺、道保川、八景の棚、下溝八幡宮へのオカメ桜の植樹を行った。成木となる5年後に地区内各所でオカメ桜の花が見れるように、面的な広がりを期待して事業を行った。また、昨年度実施した植樹のメンテナンスとして弱った苗木の交換を行った。</p> <p>自己評価</p> <p>さくらの植樹も3年目を迎え、地区内の桜の植樹本数は100本を超え、地域住民の麻溝地区への郷土愛の醸成に貢献しているとともに、地域の団体間の連携や共通の話題となっているほか、今後行われる当麻地区区画整理事業の工場周辺への桜植樹とともに、麻溝のさくらによるまちづくりの広がりが大いに期待される。</p>	
市評価	<p>3年目の取り組みとなり、桜の植樹場所の面的な広がりがさらに大きくなり、今後が楽しみな状況である。</p> <p>すぐには結果がでるものではないが、平成25年度に植樹した桜の苗木も2~3mの高さとなり、3月のこの時期にピンク色の花を咲かせ、地域の人々に春の訪れを告げているようである。</p> <p>こうした桜の木の成長を通じて、地域住民の郷土愛が深まることを期待します。</p>	
備考		